

仙台市地震防災アドバイザー室へようこそ!



いつもご覧いただきありがとうございます。

今回の更新で32回目となりました。

100万人の防災!

「生き残り」「生き延びる」ための地震対策を始めましょう!

■私の意見は少数派?

平成 21 年 3 月 4 日掲載

あなたは 30 歳代の夫婦です。 ようやく手に入れた新築マンション。 何度もショールームに通って吟味したインテリア に二人とも大満足。 しかし、大地震がきたら家具が倒れるかもしれない。	あなたは... 30歳代の夫婦! ようやく手に入れた新築マンション。何度もショールームに通って吟味したインテリアに二人とも大満足。しかし、大地震がきたら家具が倒れるかもしれない。 【市民権5000】 格好は悪いが耐震金具を家具につける? Yes (つける) OR No (つけない)
--	--

格好は悪いが耐震金具を家具につける?

Yes(つける) or No(つけない)



このような問題が出されたら、あなたの回答はどちらですか?

考える時間は 30 秒、一斉に回答のカードをオープンします。



先日、このようなカードゲームの研修会を開催しました。
CROSSROAD(クロスロード)です。

ゲームのパッケージには

災害への備えをどうするか、大地震が起こったらどう対応するか。そこでは、私たちの日常生活では思いもよらないような“決断すべき場面”にたくさん遭遇するでしょう...。
クロスロードはそんな決断の「分かれ道」を考えるゲームです。

と記載されています。

ゲームの主眼は、自分と異なった意見・価値観の存在を知ることです。
Yes が正解で、No が不正解と言った決着をつけるゲームではありません。

地震対策をするには多方面からの視点で方法を考える必要があり、また、他人とともに災害対応に当たる場合や避難所で他人と生活をともにするには自分と異なった意見・考えを尊重する必要があります。このゲームはそれを「気づき」「考える」ためのツールです。

研修会は、消防職員だけでなく、消防団・婦人防火クラブ・防災士・町内会の方など 140 名の方に参加していただき、2 日間に分けて行いました。



カードゲームという形は本音を「吐露」する効果的な方法のようです。
コミュニケーションを図るツールとしては大変有効なものではないかと感じました。

さて、先ほどの設問ですが。



Yes(つける)の意見

どんなに吟味した家具でも、倒れてきて命を失ったら元も子もない。命を守るために付ける。

取り付け方を工夫すれば、それほど格好悪くならないはずだ！



No(つけない)の意見

家具が倒れるような地震が、家にいるとき発生するとは限らない。配置を工夫すれば、命を守れる置き方もあるはずだ。

30歳代の夫婦なら外にいる時間の方が長い。家で地震に遭う確率は低いのでは。

と言った意見が出ていました。

Yes にしろ No にしろ十人十色、参加者の数だけ意見があります。
繰り返しますが、どれが正解で、どれが不正解と言うゲームではありません。

仙台市消防局では前回お話した「DIG」とともに「基本的に必要な物品」「お手伝いする人材」を用意しました。

今後、研修会や訓練の一つに取り入れて行きたいと考えています。

ところでこんな設問もありました。

大きな地震のため、避難所(小学校体育館)に避難しなければならない。しかし、家族同然の飼い犬“もも”(ゴールデンリトリーバー、メス 3 歳)がいる。

一緒に避難所に連れて行く？

Yes or No

さて、あなたの回答はどちらですか？